

論文 ID : AJRS-24-038

タイトル : 再生検を繰り返し、診断 3 年後に RET 融合遺伝子変異を証明しえた肺腺癌の 1 例

山根 高 浦田 知之

高知医療センター呼吸器内科

【要旨】

症例は 54 歳男性。肺腺癌に対して 1 次治療中、左癌性胸膜炎を発症し、ドライバー遺伝子検索のため局所麻酔下胸腔鏡検査で初回再生検するも少量の腺癌細胞しか得られず、検索できなかった。3 年後、3 次治療中、原発巣の増大を認め、極細径気管支鏡と Rapid On-Site cytologic evaluation (ROSE)を用いて、2 回目再生検を行い、肺がんコンパクトパネル検査にて *RET* 融合遺伝子を検出した。4 次治療としてセルペルカチニブ (Selpercatinib)を投与し、原発巣と胸膜播種は縮小した。

【キーワード】

再生検, *RET* 融合遺伝子, 肺癌マルチ遺伝子検査, 極細径気管支鏡

Re-biopsy, *RET* fusion, Lung Cancer Gene Panel Test,

Ultrathin Bronchoscopy

【短縮タイトル】

再生検にて *RET* 融合遺伝子変異を証明した肺腺癌